

製品名: リン酸化 MEK1 (Thr292) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87741**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	Calculated MW:43 kDa; Observed MW:43 kDa

抗原情報

遺伝子名	Phospho-MEK1
別名	CFC3; MEK1; MKK1; MAPKK1; PRKMK1
遺伝子 ID	5604
SwissProt ID	Q02750
免疫原	ヒト MEK1 の Thr292 を囲む残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

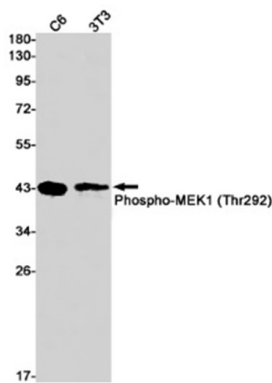
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、二重特異性タンパク質キナーゼファミリーに属し、ミトジェン活性化タンパク質

(MAP) キナーゼキナーゼとして機能します。MAP キナーゼは細胞外シグナル制御キナーゼ (ERK) としても知られ、複数の生化学的シグナルの統合点として機能します。このタンパク質キナーゼは MAP キナーゼの上流に位置し、細胞外および細胞内の様々なシグナルに応じて MAP キナーゼの酵素活性を刺激します。MAP キナーゼシグナル伝達経路の必須構成要素として、このキナーゼは増殖、分化、転写制御、発達など、多くの細胞プロセスに関与しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

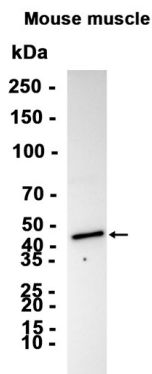
研究分野

-

画像データ



リン酸化 MEK1 (Thr292) 抗体 (1:1000 希釈) を使用した C6,3T3 細胞溶解物中のリン酸化 MEK1 (Thr292) のウエスタンブロット検出。



AMRe87741 を 1:1000 で使用してマウス筋肉組織抽出物をウエスタンブロット分析しました。